

おおさき 議会だより



雨の中でも熱演する子どもたち！(菱田銭太鼓保存会)

6月定例会

こんなこと決めました

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| ● 令和8年度補正予算…………… 2 | ● インタビュー(ピックアップおおさき)…………… 13 |
| ● 6月議会定例会審議結果… 4 | ● 町民の広場・編集後記…………… 14 |
| ● 町政を問う(一般質問)……… 5 | |

令和8年度一般会計補正予算

原案可決

総務厚生常任委員会

菱田小学校校門他改修工事

1996万2千円

質問 この工事は、国道の拡幅工事に伴うとの事だが、国からの補償はあるのか。

答弁 町に入ってくる収入としては、土地の売り払い収入が80万円、立木等の補償費が800万円で、当初予算において予算計上している。

質問 歩道橋の取り扱い及び、工事は長期休暇中に終わる計画か。

答弁 歩道橋は現況のままである。工事の着手時期については、学校の授業に支障がないよう進めていく。

質問 工事を行うに当たって、地域コミュニティ協議会などの学校関係組織の意見も聞いたのか。

答弁 学校とPTAには説明している。また、地域の方々に関わるような卒業記念の構造物等には極力影響がでないような工事設計はしている。



農地利用効率化等支援事業補助金 223万2千円

質問 選定基準及び法人1社、個人1名耕作状況は。

答弁 選定基準は、女性の採用や将来的な法人化への計画

など多項目があり、ポイント制になっている。耕作状況は、法人の方が露地野菜を中心に73・5ヘクタール、個人の方は畜産業を営んでおり、5・2ヘクタール耕作。両者とも3年目で3ヘクタール以上、耕作面積を増やす目標値を掲げて採択された。

質問 財源は全て、国庫補助との事であるが、自己負担はないのか。

答弁 この事業は、融資主体支援タイプで、申請者が融資を受けて経営改善のために必要な農業機械、施設を整備するものである。従って、補助金の他に融資と自己負担があり、事業全体に対する補助率は2分の1である。



導入予定のさつまいも収穫機

対話共創町づくり推進業務委託料 609万8千円

質問 国の地域力創造アドバイザー制度を活用して実施していくとの事だが、人材の選定と事業期間は。

答弁 地域力創造アドバイザーは、本町と連携実績のある慶応義塾大学sfrc研究所の関係者を考えている。事業期間は、財源措置のある3年間をを考えている。

質問 対話をもとに町の未来をつくる研究開発・実装機関を設置し、多様な主体、町民、企業、職員、学生などが研究員となり、地域共創コーディネーターを育成するとの事であるが、研究員の募集方法と人数は。

答弁 募集方法は、職員については手挙げ方式を、町民や企業については、町広報紙やホームページ・各種会合などで10名程度は確保したい。

質問 想定より多くの応募者があった場合の選定方法は。

答弁 地域力創造アドバイザーの意見も聞いて対応していく。

質問 地域共創コーディネーターを育成し、校区単位などで対話集会を開会する考えはないか。

答弁 地域共創コーディネーターを育成し、対話を通してながら、最終的にプロジェクトや行政施策に転換させ、住民福祉の向上につなげていくことが目的であり、対話集会を開くこと自体を目的とはとらえていない。

要望

なるべく多くの方々が参加できる仕組みを考えていただくことと、町長自らも町民をはじめ多様な方々と対話するべきである。

**スポーツ・レクリエーション用具
備品購入費 600万円**

質問 今回の備品は、要望を受けて整備するとの説明であ

ったが、どのような方々からの意見を集約したのか。

答弁 総合体育館が昨年12月にリニューアルオープンしてから、利用者や各種大会を開催している競技団体、合宿誘致団体、スポーツ観光おおさきから寄せられた意見・要望を反映した形で予算要求している。

質問 備品購入に当たっては、スポーツ用品ということとで、取り扱いが可能な町外の業者を指名して、一括での入札を予定されているとのことだが、備品の内訳を確認すると、電源コードをはじめ町内業者でも納入可能と思われる物品もあるが、分割発注する考えは。

答弁 備品については、スポーツ用品というくくりになっており、スポーツ用品で入札参加資格を出してもらう必要があるが、分割発注の可能性を含め、町内業者の意見も聞き、検討したい。

文教経済常任委員会

**3年間で4億5300万円
大崎クリーンセンター更新工事**

クリーンセンターの電気設備更新工事で計画された国費予算要望額6350万円が4004万円に減額内示されたことや、県でも、複数年度による更新をされたいの指導を受け、令和8年度から令和10年まで3ケ年間で16種類の更新工事を実施するものです。

質問 更新工事における稼働への影響は。

答弁 全く影響がないとは言えないが、影響を少なくしながら進める。



CRT 監視制御装置



シーケンサ盤（自動制御）

質問 制御盤の不具合があつての更新か、耐用年数による更新か。

答弁 現時点での不具合はない。標準耐用年数は10年で目標耐用年数16年としているが、すでに27年が経過していることによる判断である。3ケ年間で4億5300万円の債務負担となるが、国の補助金の変動や工事期間の変動による債務負担の変更も考えられる。

農業委員会委員を同意

本会議において無記名投票を行い、左記の9名を農業委員会委員として同意しました。（議案書の順に掲載）

氏名（敬称略）	住所	年齢
新宮 誠	大崎町永吉	64歳
豊住 秀史	大崎町永吉	67歳
大野 純一	大崎町井俣	74歳
下橋 清美	大崎町永吉	66歳
宮迫 智子	大崎町永吉	59歳
肥後 修	大崎町野方	69歳
平野 美智子	大崎町菱田	69歳
二見 さち子	大崎町仮宿	74歳
東 幸二	大崎町永吉	69歳

※年齢は令和8年8月1日現在

6月定例会議案等に対する採決状況一覧（○賛成 ●反対 議長(吉原信雄)は裁決に加わらない。）

議案等の番号	件名	賛否の意思表示											議決結果
		藤田香澄	岡元修一	富重幸博	児玉孝徳	稲留光晴	神崎文男	宮本昭一	中倉広文	中山美幸	鷺東慎一	吉原信雄	
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度大崎町一般会計補正予算（第9号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度オオサキポイント事業特別会計補正予算（第2号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（大崎町町税条例の一部を改正する条例の制定について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（大崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第25号	大崎町立小中学校電子掲示装置購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第26号	大崎町指定ごみ袋購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第27号	令和8年度大崎町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第28号	令和8年度大崎町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第29号	令和8年度大崎町公共下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第30号	令和8年度大崎町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
同意3-8,10-12号	農業委員会委員の任命について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	同意
同意 9,13号	農業委員会委員の任命について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不同意

一般質問

こ だま たか のり
児 玉 孝 徳 議員

・防災力強化と地域コミュニティの維持



P 6

いな だめ みつ はる
稲 留 光 晴 議員

・物価高騰対応暮らし応援給付金
・地域医療体制の現状は
・敬老祝い金（長寿祝い金）の現状は



P 7

おか もと しゅう いち
岡 元 修 一 議員

・不法投棄対策と住民参加型の地域美化の推進
・保養施設利用券（温泉利用券）の活用促進



P 8

ふじ た か すみ
藤 田 香 澄 議員

・本町の広報機能強化
・本町の企業支援の充実化



P 9

とみ しげ ゆき ひろ
富 重 幸 博 議員

・庁舎等あり方検討委員会



P 10

5 議員が登壇

町政を問う

一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

二次元コードをスマホ等で読み込むと各議員の一般質問を視聴できます。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111（内線 310・311）

地域ウェルネスの向上を

対話で安心して暮らせるまちに



こ だ ま たかのり 議員
児玉 孝徳

どの可能性を研究していく。

問 防災活動は地域のつながりや安心感の醸成にもなる。人口増加対策にもなる地域ウェルネスの向上に向けて訓練だけでなく、交流や地域活動を一体的に進めることはできないか。

津波避難訓練後の可能性を考える

答 町長 安心して暮らせるまちの実現に向け、防災・健康づくり・地域活動を連携させ、津波避難訓練後の健康チェックや健康相談、地域交流な



健康相談の様子

地域の担い手の考えは

問 少子高齢化の中、消防団員が減少しているが、地域防災の担い手などをごどのように進めていくのか。

処遇改善と防災士で担う

答 町長 団員の処遇改善に運営交付金や福祉及び火災共済の掛金を公費負担している。また、防災士を中心に、経験や知識を持つシニア世代に指導的な役割や自主防災組織を担ってもらいたいと考える。

移住者や若者の地域活動参加へ報酬の考えは

問 地域コミュニティや地域防災活動に参加した成果に応じた報酬を与えるなど考えられないか。

実現可能性を検討する

答 町長 具体的な内容と財政負担、地域住民との公平性など実現可能性を含めて検討していく。

人口減少対策は何か

問 地域コミュニティを維持するには定住人口対策が大事だが重要施策は何かがあるのか。



新・農業人フェア(東京)でのPR活動

各定住対策補助金がある

答 町長 農業公社研修事業でのPR活動や定住事業でのPR活動や定住住宅取得補助・空き家リフォーム補助・民間賃貸住宅補助制度・企業誘致に伴う従業員の定住化である。

対話での町政への反映とできないことへの対応は

問 町長は町民との対話をどう町政へ反映させる考えか。また、対話は一部の意見に偏る可能性もあり、できないことは不信感にもつながるがどうか。

誠意をもって対話していき可能なものは施策へ

答 町長 まちづくりの主役は町民であり、対話には地域の課題や将来へのヒントが数多くあり、可能なものは施策に反映させていきたい。できない理由も丁寧に説明する事が対話だと思い、安心して暮らせる良い町になると信じ誠意をもって対話していく。

*ウェルネスとは、病気がない状態ではなく、心・体・社会的なつながりを含め、よりよく生きようとする考え方やライフスタイルをいう。

物価高騰対応暮らし応援 支援金給付計画は

オオサキポイント 国の交付金活用も今後検討



いな づはる 議員
稲留 光晴

のでその活用方法について
今後検討していく。

水道料金の基本料減免は
できないか

問 日常生活に係るものが高騰している。オオサキポイントの2万ポイントでもまだ不十分と考える。住民への支援金給付計画はどうなるか。

国からの追加交付金の活用方法を今後検討

答 町長 国からのガソリン補助や電気・ガス代の支援の他、地方創生臨時給付金など、各自自治体に追加交付が予定されている

問 オオサキポイントでは公共料金の支払いはできない。本町は6000戸が上水道完備で、基本料金2ヶ月で16500円に設定されている。5900万円の予算で年間1世帯当たり9900円の減免額になるがどうか。

要望として受け止める

答 町長 物価高騰対策の一つのメニューの考え方の要望として受け止めたい。

町内3医療機関で地域医療は充分と考えるか

問 令和8年度において、町民が将来にわたり、安心して受診できる、切れ目のない医療提供体制の構築を具体的、かつ計画的に進め、現在の3医療機関体制は、維持される見込みであるとの町長の施政方針である。これで地域医療は充分なのか。

現在の医療機関と持続可能性の協議を続ける

答 町長 医療確保プロジェクトを進めた結果、現在の3医療機関体制は当面維持できた。今後の地域医療の体制の在り方については引き続き町内医療機関と協議を続ける。

かかりつけ医療機関はどのくらいあるか

問 住民のかかりつけ医療機関は、町内、町外の割合の状況はどうか。

町内の医療機関を受診した割合は3割である

答 保健福祉課長 高血圧、糖尿病などの生活習慣病などに特化して診療を行った実績を抽出した。生活習慣病などの診療を目的に医療機関を受診した方が国保の方1432人、後期の被保険者2204人計3638人である。

町内及び町外の医療機関を受診した割合

行政データを元に本人作成 (R7年4月～R8年2月まで)

町内	鹿屋市	志布志市	曾於市	肝付町	鹿児島市	都城市・串間市を含む県外
31.0%	30.4%	24.70%	4.60%	1.60%	1.50%	5%

長寿祝い金の現状は

問 節目支給となっているが、現状はどうなっているか。

令和7年実績で249人に242万円を支給

答 町長 現状は、80歳で5千円、88歳で1万円、100歳で8万円、最高齢者5万円となっている。また社会福祉協議会から90歳で3千円、100歳で5千円、最高齢者で1万円となっている。

節目支給を見直し予算増額はできないか

問 節目をなくし、年齢を細かくして毎年支給など予算増額はできないか。

節目の枠の見直しは今後の検討課題とする

答 町長 いろいろなところを参考にしながら本町の考え方に基づいて検討していく。

ポイント付加による 美化活動をどう捉えるか

趣旨は理解するが 直ちの導入は難しい



議員 岡元 修一 (おかもと しゅういち)

問 不法投棄の推移と把握はどの様になっているか。

目立たない場所への投棄が増えている

答 町長 令和4年から委託パトロールにて監視に努めているが、最新の摘発・指導件数は5件と増加傾向にある。

不法投棄パトロールに係る費用と監視強化対策は

問 回収重量と費用には関係性があるのか。監視カメラの設置優先順位は。

委託費用は人件費のみ

答 町長 年間417万7800円で回収重量と相關はない。カメラは、要望や頻度により現在、6ヶ所に設置している。

ポイント付加型住民美化活動の提案をどう見るか

問 まるけん登録者などに、「地域クリーンパートナー」(仮称)として登録してもらい、新たにボランティアと印刷され

た袋を作成し、歩行時に軽微な投棄ごみを回収する美化活動を行なう。登録者には、地域貢献として、チーカポイントを付与する仕組みである。



小さくても景観を損なう投棄ゴミ

登録のみでの付与は公平性を欠く

答 町長 継続参加の手法としては理解するが、公金が原資である事やボランティア精神の醸成面で課題がある。まずは、環境美化推進交付金を活用し住民が地域課題に取り組める仕組み作りを進める。

温泉利用券の活用状況は

問 65才以上に発行される券の申請及び発行枚数はいくらか。

発券は以下の通りである

答 町長 申請人数1157人に対して4万6280枚を発行している。

利用実績は

問 申請枚数に対して活用された枚数及び割合、そして町内施設、町外施設の利用割合は。

券の利用割合は45・34である

答 町長 利用実績は、2万953枚で利用割合は、45・34%で、施設割合は、町内6割、町外4割である。

町内施設は1回に2枚利用を可能にできないか

問 住民の負担軽減、差別化による町内施設への利用促進の観点からも見直しするべきではないか。



あすばる温泉・ホームページより



篠段寿湯・画像提供：かごらぶ

4割台からの利用率向上を研究していく

答 町長 頂いた提案も参考にしながら住民や施設側のご意見も伺う。

本町の起業支援の充実化を

地域内経済循環率を高めるためにも必要なことだと考える



ふじ た かすみ 議員
藤田 香澄

問 本町の飲食店減少への対応策は。

答 補助事業や事業承継支援などを行っている

答 町長 町内の飲食店は平成初期の約70〜80店から現在35店と半減している。飲食店の減少は地域の活気・コミュニティの衰退・食文化発信拠点の喪失につながる危機的課題と認識している。対策として、空き店舗改修補助金、及び、新規創業

起業計画前の伴走支援も必要ではないか

起業支援補助金の飲食店開業への優遇措置や、商工会・金融機関と連携した事業承継支援を進めている。令和7年度は4飲食店が開業した。

問 金銭的支援だけでなく、起業を決意する前段階の「小さな芽」に伴走する取り組みが必要ではないか。埼玉県横瀬町の「よこらぼ」(人と場所を繋ぐ機会的支援)や草加市の「月3万円ビジネス」スクールなどが参考になるのでは。

小さな芽を育む取り組みは必要

答 町長 潜在的な人材を掘り起こして小さな芽を育むアプローチは不足している。子どもたちや若者が地域の先輩起業家と触れ合う機会を創出するなど考えたい。



埼玉県草加市ホームページより

起業支援の充実化をはかるべきでは

問 大崎町の地域内経済循環率は76.2%(2026年・県内24市町村中19位)で、民間消費額のうち49億円が地域外に流出している。地域通貨及び町内の起業支援策が、地域内経済循環率を高めることにつながると理解しているが町長の認識は。

考えるべきことである

答 町長 本町の地域内経済循環率は、2010年の約90%と比べ大幅に低下していると認識している。地域にお金を落とす受け皿として、飲食店や小売店を増やすことは考えるべき。

本町の広報のあり方は

問 「伝える」広報から「伝える」広報への転換、すなわち住民の意識・行動変容を起こす広報への転換が必要ではないか。

転換は必要と認識している

答 町長 住民が行動につながるものが広報の本来の目的であり、転換は必要と認識している。住民目線のわかりやすい表現・デザインの工夫など進めたい。定住補助金など県内トップ水準の制度も、伝わってほしい方に

刺さらないのが課題だった。

専任の広報官が必要では

問 広報戦略を全庁的にマネジメントする専任の広報官が必要ではないか。

外部人材も含め検討したい

答 町長 重要性は高まっていると認識している。外部人材の登用を含め、各課が情報を適切に集約して発信する体制づくりを検討したい。

庁舎等あり方検討について

町民の意見を広く求め納得感のある合意形成を目指す



とみしげ 富重 議員
ゆきひろ 幸博 議員

現在、準備中である

答 町長 庁舎等あり方検討委員会設置要綱として具体的な準備を進めている。

問 庁舎等あり方検討とは、具体的にどの公共施設が対象か。

役場庁舎を含め6か所

答 町長 役場庁舎、保健センター、水道課事務所、中央公民館、図書館、老人福祉センターを対象としている。

委員会規程、要綱等は

問 委員会規程、要綱等の設置と進捗状況は、どうなっているか。



中央公民館（昭和49年3月30日建設）

役場職員の支援体制は

問 検討委員会での円滑な審議には、役場職員によるサポートチームが必要ではないか。

作業部会設置を要綱に

答 町長 本委員会設置要綱において、別に作業部会などを設置できる規定を盛り込むことで職員による検討チームを組織し、資料作成、情報提供など執行部支援体制を構築していく。

大崎町公共施設等総合施設管理計画の中身は

問 昨年、2026年から2035年における公共施設に関する大崎町公共施設等総合管理計画の見直しが行われているが、どのような内容か。

更新費用総額40年間で921億円

答 町長 新たに策定した大崎町公共施設等総合管理計画における2026年度から今後、40年間における全体の更新費用推計については、建物業の公共施設が324億

公共施設等全体の更新費用推計と年間不足分

(資料 第2期大崎町公共施設等総合管理計画)

	建物系 公共施設	土木系 公共施設	企業会計 公共施設	合計
(A) 40年間の更新費用総額	324.0億円	304.0億円	293.9億円	921.9億円
(B) 1年平均更新費用	8.1億円	7.6億円	7.4億円	23.1億円
(C) 過去の普通建設事業費等(2020～2024平均)	4.1億円	3.5億円	1.2億円	8.8億円
(D) (B) - (C) 年間不足分	4.0億円	4.1億円	6.2億円	14.3億円

円、土木系の公共施設が304億円、これらに企業会計の公共施設として293億円を加えた全体の更新費用の推計は921億円となっている。

支援業務委託等に関する基本的な考え方は

問 庁舎等のあり方に関する専門業者による支援業務委託及び関連する検討委員会等に関して、町長としてどのような観点で進めていこうと考えているか。

町民にとって納得感のある合意形成が必要

答 町長 財政面や公共施設の現状分析など民間の専門的なサポートを最大限に生かしながら、検討委員会の業務を迅速かつ確実に推進していきたいと思っている。

そして、選定される委員の方々をはじめ町民の皆様のご意見を広く丁寧に向いながら、納得感のある合意形成というものはかつていく必要があると考えている。

議 員 研 修

議会活動の活性化と住民福祉の向上

町村議会議員研修 5月13日

ハラスメントのない議会を目指して 講師 社会保険労務士 ^{わくい みわこ} 涌井美和子氏

講演を通じて「誰もが安心して意見を述べられる環境づくり」について学びました。その一環として、ハラスメントを未然に防ぐために、周囲が適切に行動できる「5つのD」の考え方の理解を深めました。

不適切な言動を見かけた際には、Direct（直接伝える）、Distract（場の空気を変える）、Delegate（第三者につなぐ）、Delay（後から声をかける）、Document（事実を記録する）という五つの方法で対応します。これらは、無理のない範囲で周囲を支え合うための行動指針になるとのことでした。

激動の国際情勢と日本の安全保障 講師 防衛研究所 研究幹事 ^{ひょうどうしん じ} 兵頭慎治氏

世界情勢は大きく揺れ動いています。米国とイランの対立が続き、中東の不安定化によって原油価格や物流への影響が懸念されています。エネルギー価格の変動は、農業用燃料や肥料・飼料のコストにも直結し、畜産・農業にも影響を及ぼしかねません。

また、米中首脳会談では対話が再開されたものの、両国の競争関係は続いており、台湾海峡の緊張やサプライチェーンの不安定化が指摘されています。これらは、地域の物流や生活物資の価格にも影響する可能性があります。

地政学リスクが高まる中、国際情勢を正しく理解し、エネルギー・物流・食料など生活基盤への影響を見据えた備えが必要であると述べられました。

肝属・曾於郡町村議会議長会研修 5月14日

議会運営に関する一般的な事例等について 講師 県町村議会事務局次長 ^{ほしむれひろあき} 星簇啓明氏

議員必携を参考に、開会から閉会までの一般的な手続きの流れを改めて確認し、議会運営の基本を学びました。あわせて、議会用語の整理や、一般質問における発言の問い方・回答の引き出し方、議決に必要な過半数の原則について理解を深めました。

くにの松原キャンプ場視察 5月14日

直営になったの活動報告を受けました。（4月～5月10日現在）

利 用 料・41万1,160円

稼 働・バンガロー8人用5名・6人用6名・4人用69名

オートキャンプ場106名・フリーテント137名

昼間の管理・池田優人さん（地域おこし協力隊）、職員

清 掃・シルバー人材センター（週末3名追加）

夜間の管理・警備会社（17：00～8：30）

予約の受付・インターネット

今後、夏季に向けての利用者増が期待されます。



【議会改革等調査特別委員会が始動】

大崎町議会では、町の未来を見据えた「議員定数」と「議員報酬」の見直しに向け、町民・専門家・議員が協働する新しい特別委員会がスタートしました。

■委員会の構成

各公民分館から推薦された住民代表6名、地方自治の専門家である鹿児島大学法文学部・片野坂義仁准教授、そして各常任委員長を務める議会代表議員6名の計13名で構成されています。住民の生活感覚と専門的知見を踏まえ、公正で客観的な議論を進めます。

■審議テーマ

検討する内容は、これからの大崎町にふさわしい「議員定数（議員の数）」と「議員報酬（毎月の報酬）」のあり方です。町民の皆様の実感に寄り添いながら、最適な制度設計を目指します。

■今後の予定

7月は現状把握として基礎データの共有と率直な意見交換を行い、8月は論点整理と改革案の骨子づくり、9月には最終報告書（答申案）の審査・確定を予定しています。委員会の議論の進捗は、議会だより等で随時お知らせします。



住民代表参加の第1回特別委員会(7/10開催)



意見交換を行う グループを募集!

- ・開催日時 令和9年2月末日まで
- ・開催場所 申込書に記載された希望場所を基に、協議のうえ決定
- ・応募方法 右記の申込書に記入のうえ、議会事務局へご提出いただくか二次元コードでお申込みください。



←申し込み二次元コード

●●●今号の表紙について●●●

銭太鼓は竹筒の中に入れた硬貨が触れ合って音を奏でる伝統楽器を使い演舞する郷土芸能です。豊作祈願や祭りなどで受け継がれてきました。菱田銭太鼓保存会は銭太鼓を保存・継承し次世代へ伝えることを目的として、小学5・6年生を中心に菱田校区民で活動する団体です。

議員と語る会申込書

グループの 住所・名称	住 所
	大崎町
	名 称
	代表者・電話番号
希望日時	第1希望日時
	令和 年 月 日 () 時 分 ~
	第2希望日時
	令和 年 月 日 () 時 分 ~
希望会場	
参加予定 人数	

切り取り線

「横瀬古墳を守る会」 会長 千歳史郎さんにお聞きしました

地域の宝を次の世代へ



「横瀬古墳を守る会」

会長 千歳史郎さん

広報広聴常任委員会委員

インタビュー 稲留光晴 議員

稲留議員

「横瀬古墳を守る会」が発足したきっかけは。

千歳さん

横瀬古墳は大崎町の誇る国指定文化財ですが、20年前から町の委託を受けて草刈り作業を行ってきた大丸校区の山村青壮年部が高齢化により活動を継続できなくなりました。このままでは古墳の環境維持が難しくなることから町の社会教育課から相談を受けました。地域の貴重な文化財を後世へ引継ぎ、観光資源としても活用していきたいとの思いで大丸小学校卒業生を中心に「横瀬古墳を守る会」を立ち上げ、草刈り活動を引き継ぎました。

稲留議員

具体的にどのような活動をされていますか。

千歳さん

年間6回程度草刈り作業や清掃活動を行い、古墳を安全で気持ちよく見学できる環境づくりに取り組んでいます。歴史や価値を地域のみなさんに知っていただき、地域全体で守っていきたいと思います。

稲留議員

活動をされているなかで、大切にされている「想い」は何ですか。

千歳さん

一番大切にしているのは、「地域の宝を次の世代に引き継ぐ」ということです。横瀬古墳は地域の歴史を語る大切な文化財です。地域の皆さんが誇りをもち、多くの方に親しまれる場所となるよう、継続した活動を大切にしていきます。

稲留議員

古墳を守る会として、活動の展望や、この記事を読んでいる方へのメッセージをお願いします。

千歳さん

今後は、横瀬古墳を会場とした歴史散策会や地域交流イベントなどの開催も視野に入れています。地元への愛着や誇りを育み、古墳を身近に感じてもらえる機会を増やしたいですね。人が集い、地域が元気になる拠点となればうれしいです。ぜひ一度、横瀬古墳を訪れ、歴史や魅力に触れていただきたいと思います。



活動メンバー

◆千歳さん、貴重なお話しありがとうございました。

私の想い

大崎町を音楽で潤う町に



大崎フオーク村
村長
宮脇 敏博
みやわき としひろ

いきなり大袈裟なタイトルになったけど数年前に心の中に芽生えた強い想いです。勿論リサイクル日本一は素晴らしい。

でも何か文化的な活動が少ない気がしてなりませんでした。

50数年振りに広島県からUターンして来て最初に思ったのが、そんな感覚でした。数十年、横浜、広島でアマチュアの音楽活動にど

つぱり浸かっていたのか

で特にそう感じたのかも知れません。

音楽がしたくても場所がない、昔ギターを弾いていたけどまた始めてみたい、習いたいくけど教えてくれる人がいないとか。

周りから、そんな声が聞こえて来たので思い立って2024年11月に野方小学校近くの旧ファミリーマート跡地に「大崎フオーク村」を立上げ。現在偶数月の最終土曜日夕方からLIVEを行っています。

参加者は色々でジャンルも特に制限は有りません。好きな歌を思いつきり演奏して欲しい

の

いのが立ち上げた一番の想いです。

最近演奏者、お客さんも町内に限らず鹿児島市内、霧島市内、志布志市と広域に渡って一層、親睦が深まりつつあります。



鹿児島市から参加の夫婦

そんな中、先日「大崎ふれあいの里公園イベント広場」にて初の試みとして野外LIVEを開催しました。真夏の炎天下でのイベントのせいか若干お客さんが少なかったけど皆さん喜んで貰えたと思っています。

今回、鹿屋高校の軽

音楽部も若さ溢れる演奏で盛り上げてくれました。

もし次回開催する際は、もう少し涼しい時に計画しようかと思えます。自分の年齢を考えた時、あと何年で生きるか不安ですが、途中で消滅させる事なく活動を続けていきたい。

大崎町が「リサイクル日本一」「音楽が流れて来る素敵な町」を目指し、微力ながら頑張っていると思います。



県立鹿屋高等学校軽音楽部

編集後記

連日厳しい暑さが続いておりますが、みなさまにはお元気で過ごしのこととお喜び申し上げます。

物価高騰対策の国から地方への支援策で、「重点支援地方交付金」が盛り込まれ、本町は、オオサキポイントが2万ポイントに増額されました。議会におきまして「議会活動の見える化」をめざし議会改革等調査特別委員会設置で、議論を活性化させています。議会だよりがより充実した内容となる編集に今後も取り組んでまいります。(稲留光晴)

議会広報広聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岡元 修一 |
| 副委員長 | 中倉 広文 |
| 委員 | 中山 美幸 |
| 委員 | 宮本 昭一 |
| 委員 | 神崎 文男 |
| 委員 | 稲留 光晴 |

発行責任者

大崎町議会議長 吉原 信雄